

ジーエフケー マーケティングサービス ジャパン株式会社  
代表取締役社長 朝比奈 進  
問い合わせ先: 経営企画室  
瀬藤(こうけつ) 潤子  
(TEL: 03-5350-4624)

## 実売より見るBlu-rayソフト市場の現状 Eコマースが牽引、年末は50億円市場に

ジーエフケー マーケティングサービス ジャパン株式会社(東京:中野区)は、全国の有力DVDソフト取扱店、家電量販店、Eコマース等の実売実績を基に、Blu-rayソフトの実売動向を発表した。

### 【概要】

- ・ Blu-rayソフトは対前年同期比で三桁成長を維持
- ・ ジャンル別では「洋画」「邦アニメ」への二極集中がさらに加速
- ・ チャンネル別ではアニメ効果によりEコマースが牽引
- ・ 年末にはBlu-rayソフトは50億円市場へ成長の見込み

### 【Blu-rayソフトの実売は、対前年同期比で三桁成長を維持】

2008年1-9月期のBlu-rayソフト市場規模は 68万枚、38億円で、対前年比が数量ベースで357%、金額ベースで373%となり、三桁成長を続けている。また、DVDソフト全体市場におけるBlu-rayソフトの金額構成比が、1月 0.9% 9月 3.8%に成長、着実に構成比は拡大してきている。タイトル数も9月期時点で500タイトルを超えた。

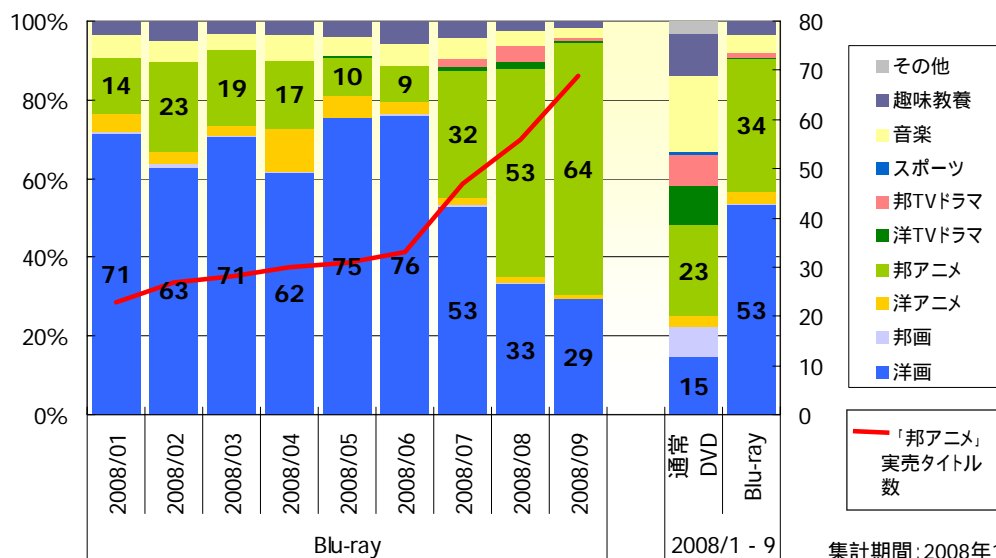
### 【「洋画」「邦アニメ」への二極集中がさらに加速】

2008年1-9月期までのBlu-rayソフトジャンル構成比をみると、「洋画」「邦アニメ」への二極集中がさらに加速している。とくに7月以降、バンダイビジュアル社がBlu-rayソフトの発売を拡大してからは「邦アニメ」が急増し、9月期単月では金額構成比で64%にまで上っている(図1)。同社は新作・旧作を合わせて、毎月10タイトル前後の発売を予定しており、「邦アニメ」の勢いは今後も続く予測される。

タイトルの数では過半数を占めながら、一時的には押されている「洋画」も、強力タイトルを有するパラマウント社とユニバーサル・ピクチャーズ社の発売が決定。年末にかけて攻勢をかけてくることは確実で、「洋画」「邦アニメ」の2ジャンルが市場を牽引するという構図は、しばらく継続する見込みである。

一方、依然として様子見の感が強い「邦画」だが、興行が好調の東宝が、ようやく10月末に「スウィングガールズ」などの劇場公開作品をBlu-ray化。他邦画メーカーのBlu-ray参入計画のベンチマークとなるだろう。

図1: Blu-rayソフトジャンル別金額構成比と邦アニメ実売タイトル数  
ジャンル別金額構成比の規格別比較

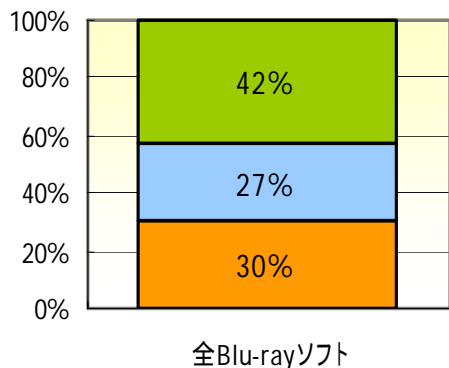


### 【チャンネル別構成比は、アニメ効果でECマースが一步リード】

下のグラフは、当社が調査するメディアストア・家電量販店・ECマース(以下EC)のチャンネル別金額構成比を表している。図2で明らかのように、2008年1-9月の全Blu-rayソフトのチャンネル別金額構成比を見ると、ECが頭一つリードした形である。

ECチャンネル拡大の要因のひとつとしては、アニメ作品の躍進が挙げられる。邦アニメが一気に構成比を伸ばした2008年7-9月では、同ジャンルにおけるEC金額構成比は66%にのぼる(図3)。「洋画」は各チャンネルの構成比にあまり差がない為、「邦アニメ」がいかにECを牽引しているかが顕著であることがわかる。

図2: 全Blu-rayソフト  
チャンネル別金額構成比 (1~9月期)

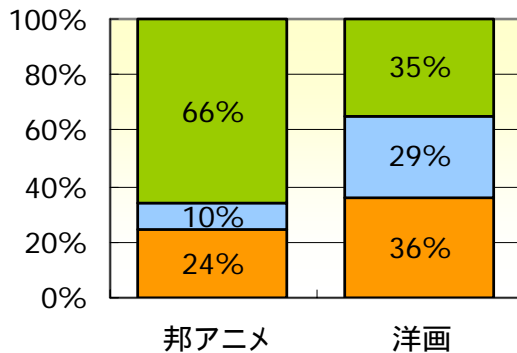


全Blu-rayソフト

■ 家電量販店 ■ メディアストア ■ EC

集計期間: 2008年1-9月期

図3: 「邦アニメ」「洋画」Blu-rayソフト  
チャンネル別金額構成比 (7~9月期)



邦アニメ

洋画

集計期間: 2008年7-9月期

### 【年末の50億円市場への成長は、達成の見込み】

今年末までの市場規模の当社予測として、7月1日発表の当社プレスリリースで50億円市場への成長の可能性を見込んだが、その達成はほぼ見えてきたといえる。Blu-rayによってその効果が引き立つVFX(ビジュアル・エフェクト)を多用した洋画大作は、1タイトルの販売数量のうち10%以上をBlu-ray版が占める場合もある。急増する「邦アニメ」においては「マクロスF第2巻」のように、発売時の動きで通常DVD版の売上げをBlu-ray版の売上げが上回るタイトルが現れ始めた。ただし、現時点でDVDソフト市場全体におけるBlu-rayソフトの構成比が数%であることを考えると、Blu-rayソフトがDVDソフト市場の過半数を占めるのは、まだ先になりそうである。

Blu-rayソフトの一般層への普及のためには、発売タイトル数の充実、ジャンルの早期拡充に期待されるところが大きい。年末までには700タイトルを超え、来年前半には一千タイトルに及ぶ可能性も見えてきているため、家電量販、ECマース、大手CDチェーン等のメディアストアにおける今後のBlu-rayソフト露出の飛躍的増加により、来年以降のBlu-rayソフト市場の本格的成長も現実味を帯びてきたといえるだろう。

(マーケット・インテリジェンス部 メディアコンテンツグループ 西川)

本レポートに関するお問い合わせ先

ジーエフケー マーケティングサービス ジャパン株式会社  
経営企画室 瀧澤(こうけつ)潤子  
tel : 03-5350-4624  
email : info@gfkjpn.co.jp